

2022年度（一社）鳥取青年会議所

委員長 所信書

委員長 本多 亜矢

2020年度、鳥取青年会議所では「郷土愛溢れる因幡」とビジョンを新たにし、本年度では、目まぐるしく変化する社会の中で成長していく子供たちが、未来を自ら切り開いていけるよう、主体的な人財へと成長させることを目的に活動しています。昨今では、人や地域との関りが少なくなり、限られた人が教育に携わっている中で、地域や企業の大人も一体となり、人や地域の為に能動的に活躍できる人財を地域全体で育むことが必要です。

まずは、未来の因幡地域を作り、担う青少年として、この予測も出来ない時代の流れに柔軟に対応できる資質、能力を育成するために、知識や技能だけを習得するのではなく、それを生かし、自ら思考、判断、表現し、教育改正に基づいた「生きる力」を育みます。そして、育成する側の大人も共に学び、積極的に青少年の教育に参画し理解を深めるために、課題に対しての解決策を思考し、主体性のある青少年育成のための様々な機会の提供が必要です。さらに、青少年のために、求められる資質、能力とは何かを地域社会と共有、連携し、「生きる力」のその先の力を教育し、学校だけでなく、家庭や遊び場でも、ただ教えるだけではなく、青少年自ら能動的に行動出来る力を養うことが必要です。また、子供たちにとって教育現場をより良くするために、楽しむことを忘れず「毎日の生活を築き上げる場」でありつつ「未来を創造する場」とし、主体性を持つことで人生や社会をよりよくできるという実感を持たせることが必要です。そして、変化の激しい困難な社会を乗り越えさせるために、地域社会が連携、協力し、教育活動を充実させることが必要です。

事業を通じて、主体性に富んだ子供たちと、それを支え育てる地域社会が、共に故郷を愛し、社会や地域との関りを大切に、夢や希望に向け主体性を持ち活躍できる青少年を育成し、持続可能な明るい豊かな因幡地域を築き上げ、「郷土愛溢れる因幡」が実現します。

委員長として自覚を持ち、メンバーを支え、皆が足並みを揃えて委員会活動に参画して頂けるよう、常に感謝の気持ちを忘れず、私自身も含めメンバーが楽しく成長していけるような委員会運営をし、メンバーの今後のJC活動や志事に繋がるように全力で努めます。